特集

もしもの時に備えよう

今金町では、８月16日に24時間の雨量が226㎜となり、24時間の降水量が観測史上最多を記録しました。また、６月29日にも132.5㎜を記録するなど大雨となる事が増えています。

防災・減災は、まず自分の命を守ることが基本です。いざというときに身を守る行動がとれるように、何ができるか考え準備をしておきましょう。

自然災害はいつどのように起こるのか誰にもわかりません

- 自宅周辺の災害危険箇所や避難場所を知っていますか？
- 避難方法や集合場所を家族やご近所さんと確認していますか？
- 非常持出品の準備はしていますか？

※令和４年８月16日

８月16日の大雨による町内各所の状況



▲認定こども園前（中央通り）



▲清流パークゴルフ場



▲御影光台線



▲日進金原線

災害危険個所や避難場所確認しましょう

今金町の災害危険箇所

今金町には『後志利別川の洪水浸水想定区域』と『土砂災害危険箇所』が指定されております。

洪水浸水想定区域では、市街地に至っては国道より南側はほぼ浸水区域になっており、また、町内で地すべりやがけ崩れのおそれのある箇所は58箇所あります。

避難場所、避難方法

避難所は24箇所あります。

災害の種類や状況によって避難場所が変更になる場合がありますので、町の避難指示に従って避難してください。



特別警報について

「特別警報」は、「東日本大震災」や「伊勢湾台風」といった、誰もが一度は聞いたことがあるような大災害が起こるおそれがあるときに、住民の皆さんに最大限の警戒を呼びかけるものです。

特別警報が発表された場合は、これまで経験したことのないような非常に危険な状況にあります。ただちに町の避難情報に従うなど適切な行動をとってください。



◀災害危険箇所や避難所は『今金町防災ガイドマップ』に掲載しています。

お持ちでない方は、役場くらし安心課までご連絡ください。

防災気象情報と警戒レベルとの対応について（函館地方気象台）

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府（防災担当））では、住民は「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動をとるとの方針が示されています。

町から発表する避難情報や気象庁等から発表される防災気象情報には、この方針に沿って、住民（町民）がとる避難行動が直感的に理解しやすくなるよう、５段階の「警戒レベル」を明記して提供することとなっています。

町が警戒レベル４の避難指示や警戒レベル３の高齢者等避難を発令した際には速やかに避難行動をとってください。

一方で、多くの場合は、町が発令する避難指示等よりも気象庁等から防災気象情報が先に発表されますので、危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル４や高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル３に相当する防災気象情報が発表された際には、避難指示等が発令されていなくてもキキクル（危険度分布）や河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をお願いします。

避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

なお、二次元バーコードのリーフレット裏面の「河川の水位や雨の情報」に記載されています「氾濫注意情報」等の水位情報は、今金町では函館開発建設部と函館地方気象台が共同で、後志利別川を対象に発表します。

「避難情報のポイント」二次元バーコード

防災行政無線の放送内容をメールとホームページから確認できます。

★メールの受取り登録の方法

下のメールアドレスに空メールを送信するか、右のQRコードを読取って登録できます。

bousai.imakane-town@raiden3.ktaiwork.jp

★ホームページでの確認方法

下のURLにアクセスするか、右のQRコードを読取って確認できます。

http://260bousai.jp/navi/imakane/